

競泳

6年ぶりの世界へ 今井「自分に集中」

代表合宿

水泳の世界選手権(7月・福岡市)に出場する競泳日本代表が13日、東京都北区の味の素ナショナルトレーニングセンター(NTC)イーストで合宿を公開し、女子200メートル個人メドレーで東京五輪を制した大橋悠依(イトマン東進)は「まずは決勝にちゃんと残る」と表情を引き締めた。6年ぶりに出場する女子平泳ぎの今井月(バローHD)は「自分のレースに集中する」と話した。

8大会連続出場となる男子背泳ぎの入江陵介(イトマン



調整する今井月「味の素ナショナルトレーニングセンターイースト

東進)は主将に就任。5個のメダル獲得を掲げるチームの目標を「ぶらさずにやっていたい」と意気込んだ。

男子100メートルバタフライで昨年の世界選手権2位の水沼尚輝(新潟医療福祉大職)は「自己ベストを目指したい」と目標を掲げた。